

ふるさと通信

第4号

発行元
NPO法人
われらはふるさと
医療応援団



田植え機を操る平出理事長

とを守るため
の取り組
みが必要
です。
写真は、
田植えの
応援？に
来ていた
だいた平
出理事長
に、田植
機を操縦
してもら
っている
レアな一
枚です。

新緑が映え、虫やカエルの鳴き声がふるさとに響きわたる季節となりました。
ふるさと通信の編集を担当している応援団員のIです。
各地で田植えが行われ、兼業農家の応援団Iも大忙しの毎日を送っております。兼業とはいえ、一町三反(甲子園球場と同じくらい)もある田んぼは、植えるだけでも大変ですが、秋の収穫までには、まさに「米」の字のとおり、八十八回の手間がかかります。それだけの労力が必要なお米作りですが、新米を食べるときは、達成感と美味しさで、これぞ「至福」という感覚になります。
ただ、後継者不足は深刻で、医療同様、ふるさと

われらはふるさと医療応援団 令和4年度総会を開催しました

去る5月15日、NPO法人われらはふるさと医療応援団の令和4年度の会員総会を京都橋大学において開催しました。
今回の総会は、会場とWebのハイブリッド開催となり、久しぶりに顔を合わせる会員同士、和やかな空気を感じながらも、事業計画などの議案について、活発な意見が交わされました。
提出された議案については、すべて全会一致で承認され、総会は盛況のうちに終了することができました。



事業計画などを説明する平出理事長

平出理事
長からは、
当NPOの
活動をより
多くの人に
知ってもら
うこと、及
び会員とし
て参加し、
活動していた
だけの人が
増え、支援
の輪が広が
るよう総括
していただ
き、閉会と
なりました。

お問い合わせ

われらはふるさと医療応援団へのお問い合わせは、ホームページからお願ひします。

<https://furusato-med.jp/>

新型コロナウイルス感染拡大の制御に関する パネルディスカッションを開催

総会終了後には、新型コロナウイルス感染拡大の制御に関するパネルディスカッションが開催されました。



郡山保健所 本木隆規先生

今回は、当NPOから4人のパネラーと、奈良県郡山保健所から本木隆規先生、IHEAT本部日本公衆衛生協会健康危機管理支援部から高桑大介先生をお招きして御講演をいただきました。

本木隆規先生からは、「パンデミックにおける保健所によるサーベイラ

ンスの実態と課題」については、「IHEATシステム運用における潜在専門職の活用と支援の可能性」についてのお話をいただき、コロナ禍における潜在的な人員の支援活動の可能性と今後の展望について、当NPOにとって非常に多くのヒントを得ることができました。



IHEAT本部 高桑大介先生